

2-7.2_1

(1) 合宿研修

1 材料・応用化学科(応用生命化学教育プログラム、応用物質化学教育プログラム)

9/27 に日帰り、九州シンクロトン光研究センターと中富ぐすり記念博物館を見学した。参加者は学生 65 名、同伴教員 3 名だった。

2 材料・応用化学科(物質材料工学教育プログラム)

物質材料工学教育プログラムに配属された直後の 2 年生を対象に日帰り合宿を実施した。福岡県の大牟田市と熊本県の荒尾市に跨る世界遺産の三井三池炭鉱を訪問し、日本の産業革命を牽引した炭鉱事業の実態について学んだ。同炭鉱における最初の坑道(宮原坑)は囚人労働によって開拓されたものであるが、それによって亡くなった作業員二千六百余名の慰霊碑が熊本大学のキャンパス内(厳密には敷地の隣)にあるという話を、実際に炭鉱で働いた経験があるガイドの方に教えて頂き、後日皆でその慰霊碑を探してお参りした。それを経験したことによって歴史を身近なものとして実感できたと学生達の多くが語っている。

3 機械数理工学科(機械工学教育プログラム、機械システム教育プログラム、数理工学教育プログラム)

入学後、間もない 1 年生学生どうしの親睦を深めるため、機械数理工学科での今後の学び方の指針をえるため、また機械数理と SDGs の関わりについて学ぶ機会として、4月9日(土)に阿蘇周辺地域への研修旅行を実施した。高学年の学生を同伴させることで、機械数理工学科での学びおよびキャンパスライフについて大枠のイメージが取得できた。

4 土木建築学科(土木工学教育プログラム・地域デザイン教育プログラム)

学科の学生同士、学生と教員間の親睦を深めること、土木建築学に関連する施設を見学し、今後の大学生活や勉学に対する意識を涵養することを目的として、熊本港湾・空港整備事務所による協力のもと 2 年生対象の日帰りの研修を実施した。当日は、まず熊本大学の講義室で熊本港湾・空港整備事務所の事業や見学地に関する説明を受けた後、見学地に向かった。そして、八代港コンテナターミナル、大築島土砂処分場工事現場、くまもんポート八代を見学した。

熊本大学の講義室において熊本港湾・空港整備事務所により、沿岸部における地震対策、地震発生後の対応、津波対策、海岸整備事業、地域の活性化にむけた取り組み、環境への配慮等様々な事業について説明を受けた。また、見学地である八代港、及び熊本港において現在行われている事業に関して学んだ。

八代港コンテナターミナルにおいては、八代港の概要、地理的特性や機能の特徴、コンテナ取扱量や歴史について説明を受けた。また、コンテナターミナルの移設や吸出防止対策、エプロン打替工事等の機能拡充に向けた整備事業、及びコンテナ流出防止対策事業について学んだ。また、ガントリークレーンや、ジブクレーン、ストラドキャリ等を実際に見学した。

八代港コンテナターミナルの整備事業において浚渫された土砂の処分場として整備されている大築島土砂処分場の見学を行った。小型の船に乗り、大築島周辺を回り、見学を行った。また、処分場で用いられているサンドコンパクション(SCP)船に乗船し、内部の見学も行った。

くまもんポート八代は国際クルーズ船の受け入れ拠点として官民連携により整備され、2020 年 3 月に完成し

た港である。くまもんポート八代に活用状況、寄港するクルーズ船等の説明を受けた。その後、現地の見学を行った。

全体を通して、港の様々な整備事業等を学習し、また普段見ることができない現場や SCP 船等の設備を見学することができる貴重な機会となった。

日時: 令和 4 年 9 月 22 日(木)

場所: 八代港コンテナターミナル、大築島土砂処分場工事現場、サンドコンパクション(SCP)船、の見学くまもんポート八代

参加者: 学生 64 名、教員 7 名

スケジュール

9/22(木)

11:00 集合(工学部2号館 212 教室)

座学:

事務所概要説明(企画調整課) 20 分 (質疑応答含む)

八代港整備事業の説明(企画調整課) 10 分 (質疑応答を含む)

工事概要説明(五洋建設) 10 分 (質疑応答含む)

港湾建設業界の紹介(埋浚協会) 20 分 (質疑応答含む)

12:00 昼食

12:30 集合(工学部 百周年記念館前)・出発

13:40 熊本県所有ポンツーン 着 (徒歩で船舶へ移動)

13:45 熊本県所有ポンツーン 発 (船舶による移動)

14:10 大築島土砂処分場工事現場 着

S.C.P 船乗船見学

14:50 大築島土砂処分場工事現場 発 (船舶による移動)

15:05 外港地区沖合 着

クルーズ岸壁, コンテナターミナルを船上から見学

15:15 外港地区沖合 発 (船舶による移動)

15:25 熊本県所有ポンツーン 着(徒歩でバスへ移動)

15:30 熊本県所有ポンツーン 発(バスによる移動)

15:35 コンテナターミナル 着

コンテナターミナル見学

16:25 コンテナターミナル 発(バスによる移動)

16:30 くまもんポート八代 着

くまもんポート八代見学

17:00 くまもんポート八代 発 (バスによる移動)

18:10 熊本大学 着

5 土木建築学科(建築学教育プログラム)

令和4年度は実施なし。

6 情報電気工学科(電気工学／電子工学／情報工学 教育プログラム)

情報電気工学科では、例年、新入生に対して、入学直後(4月中旬)に1泊2日の日程で合宿研修を行っている。これは学生間の親睦を図ることとともに、本学科の教育研究についての説明、学生生活の心構えや注意等を行うことを目的としている。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため、合宿研修は中止とした。代わりに、5月に新入生全員参加の研修会を実施した。詳細は2.7.1 教育活動を参照のこと。

7 機械数理工学科(数理工学教育プログラム)

数理工学教育プログラム(旧数理工学科)では、改組に伴いH30年度から機械数理工学科として研修旅行を実施している。新入生の導入授業である「工学基礎実験」の一環として、機械数理工学科の専門科目を学ぶことの動機付けと社会に踏み出す際に必要な心構えについての教育を行うことを目的とした日帰りの研修旅行を実施している。詳細については機械数理工学科(機械工学教育プログラム、機械システム教育プログラム)の研修旅行報告書を参照されたい。